

ノートテイクとは

ノートテイクとは、聴覚に障害のある学生に対し、パソコンや、筆記その他の手法を用いて講義等の情報を保障する支援活動です。

北翔大学では、聴覚障害学生に対し、支援学生（ティマーク）が自らの空き講時間を利用し、パソコン及び筆記により講義内容等をサポートする支援活動(有償ボランティア)を行っています。

・パソコンテイク

→PCを使用することでより多くの情報を伝えることができる支援。
ただし講義形態により、不向きな場合もあります。

・ノートテイク（筆記）

→伝えられる情報量はパソコンより劣るが、ほとんどの座学講義において対応可能。



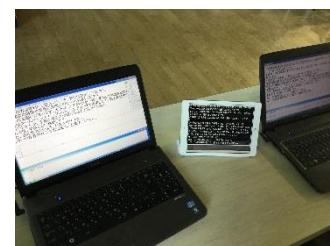
北翔大学ノートテイク

北翔大学では、学生ボランティアのみなさんが自主的に支援活動をしています。また、特別サポートチームが支援活動のお手伝いをしています。

ノートテイクってどうやるの？

○パソコンテイク

二人一組になり、先生が話す言葉や教室の中で聞こえる音（チャイムなど）を画面に入力します。ユーザーはその画面を見ることで講義内容やその場の雰囲気を理解します



ティマーク

ユーザー

ティマーク

○ノートテイク

二人一組になり、先生が話す言葉や教室の中で聞こえる音（チャイムなど）を交代しながら紙に書きます（10～15分ごとに交代）。

また、自分が書いていないときは補助をします。



利用のながれ

依頼者（ユーザー）

- ①特別サポートルームで相談
・講義が決まつたらティマークについて相談しましょう
(※必ずしも全ての講義にティマークが配置されるとは限りません)

- ②依頼者（ユーザー）からのティマーク依頼を受けティマークを配置



ティマーク開始

- ④ティマークデビュー
・まずは代理ティマークから。経験を積みましょう

- ③模擬ティマーク
・実際の授業に参加し、ティマークをします。

- ②講習会で勉強
・ティマークとしてのマナーやルール、実技などを学びます

- ①ティマーク募集に応募

支援者（ティマーク）